

平成23年産甘夏栽培管理行程実績表

1 化学肥料・化学合成農薬削減するための栽培管理技術  
 1.草炭(太古の湖沼に堆積した葦藁の腐植)堆肥、2.鶏骨粉及び油粕等の醗酵有機肥料、3.土着菌群を培養してチャコール(草木炭粉末)に固着させた微生物資材ハイミクロを組み合わせた総合有機投入での栽培です。サンゴ化石を配合しています。

2 年間の栽培管理行程

作業名		肥料・堆肥・土づくり			雑草・病害虫防除等		
作業名	月	施用日	資材名	化学N成分量	施用日	資材名	化学合成農薬
				(kg/10a)			使用回数
	1						
甘夏収穫	2						
基肥	3		有機配合肥料	2.4			
追肥	4		総合有機肥料	0.4			
追肥	5		総合有機肥料	0.4		アタックオイル	0
	6					ジマンダイセン	1
	7					根茎多年草(選択部分散布)除草	1
	8						
秋肥	9		総合有機肥料 磷酸主体	0			
葉面散布	10		核酸・アミノ酸・フルボ酸	0.1			
葉面散布	11						
礼肥	12		磷酸肥料	0.1			
葉面散布	1						
合計	(慣行使用量300.特裁認定使用基準150以下)				(慣行12回.特裁認定使用基準6回以下)		
	当園の使用量				3.4kg/10a	当園の使用量	

甘夏かあちゃんの呼子夢(島)甘夏の評価

JAS有機(無農薬・無化学肥料)には及ばないものの、JAS有機に限りなく近いと評価できると思います。1の化学肥料・化学合成農薬削減するための栽培管理技術の使用有機資材も草炭腐植(フミン酸)、酵素での醗酵有機、土着菌等有用微生物群カルシウムは珊瑚化石等どれも高級有機資材を組み合わせた総合有機なのです。使用した化学N成分は極少、化学農薬使用は2回以下という最小限、しかも収穫時期までの半年間以上は農薬無使用期間とするポリシー。食の安全・安心へのこだわりです。